

製品名: TALL-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab18640**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	TNFSF13B
別名	TNFSF13B; BAFF; BLYS; TALL1; TNFSF20; ZTNF4; Tumor necrosis factor ligand superfamily member 13B; B lymphocyte stimulator; BLYS; B-cell-activating factor; BAFF;Dendritic cell-derived TNF-like molecule; TNF- and APOL-related leukocyte expressed ligand 1; TALL-1; CD257
遺伝子 ID	10673.0
SwissProt ID	Q9Y275
免疫原	抗血清はヒト TNFSF13B の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

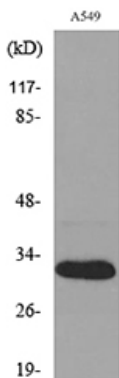
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、腫瘍壊死因子 (TNF) リガンドファミリーに属するサイトカインです。このサイトカインは、受容体 TNFRSF13B/TACI、TNFRSF17/BCMA、および TNFRSF13C/BAFFR のリガンドです。このサイトカインは B 細胞系譜細胞で発現し、強力な B 細胞活性化因子として作用します。また、B 細胞の増殖と分化において重要な役割を果たすことも示されています。異なるアイソフォームをコードする選択的スプライシング転写バリエーションが同定されています。[RefSeq 提供、2011 年 3 月]、機能: TNFRSF13B/TACI および TNFRSF17/BCMA に結合するサイトカイン。TNFSF13/APRIL は同じ 2 つの受容体に結合します。これらは一緒に、B 細胞および T 細胞機能の刺激と体液性免疫の調節に関与する 2 リガンド-2 受容体経路を形成します。3 つ目の B 細胞特異的 BAFF 受容体 (BAFFR/BR3) は、成熟 B 細胞の生存と B 細胞応答を促進する。誘導: インターフェロン- γ への曝露によってアップレギュレーションされる。ホルポールミリスチン酸アセテート/イオノマイシン処理によってダウンレギュレーションされる。オンライン情報: Proteic grace - 2006 年 12 月号 第 77 号, PTM: N-グリコシル化。PTM: 可溶性型は膜型からタンパク質分解によって誘導される。類似性: 腫瘍壊死因子ファミリーに属する。サブユニット: ホモ三量体。組織特異性: 末梢血白血球に豊富に発現し、単球とマクロファージに特異的に発現する。脾臓、リンパ節、骨髄、T 細胞、樹状細胞にも存在する。胎盤、心臓、肺、胎児肝臓、胸腺、膵臓にも低発現が認められる。、

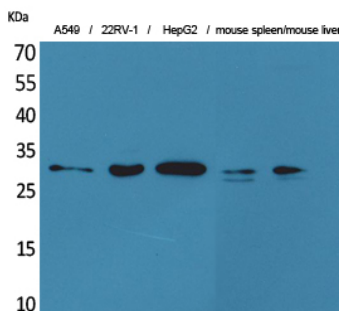
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用; IgA 産生のための腸管免疫ネットワーク;

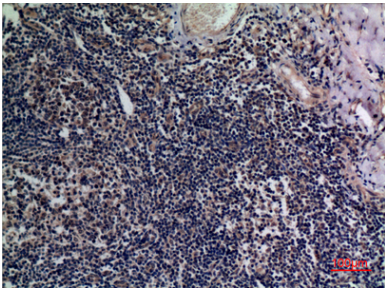
画像データ



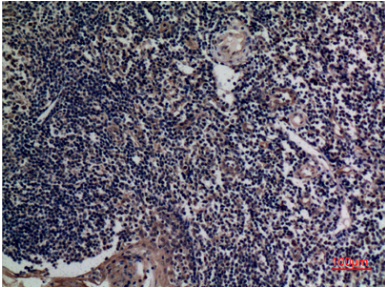
TNFSF13B 抗体を使用した A549 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



TALL-1 ポリクローナル抗体を用いた A549、22RV-1、HepG2、マウス脾臓、マウス肝細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された